

# JSiSE 全国大会講演論文の書き方

ーようこそ JSiSE へー

## Guidelines for the Proceedings of the Annual Conference of JSiSE

-Welcome to JSiSE-

教育 太郎<sup>\*1</sup>, 情報 花子<sup>\*2</sup>

Taro KYOIKU<sup>\*1</sup>, Hanako JOHO<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup>教育システム大学情報学研究科

<sup>\*1</sup>Graduate School of Informatics, University of Educational Systems

<sup>\*2</sup>ジェイサイス大学

<sup>\*2</sup>University of JSiSE

Email: taro\_kyoiku@example.ac.jp

あらまし：本稿では、教育システム情報学会全国大会の講演論文原稿の書式について説明しています。特に、講演原稿のページ数が2ページであること、原稿はフォント埋め込みのPDF原稿に限っていることにご注意ください。PDF原稿が、そのままカメラレディ原稿となります。では、会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

キーワード：教育システム情報学会、全国大会、Microsoft Word、テンプレート

### 1. はじめに

教育システム情報学会全国大会の講演論文は、以下の書式を標準として記述して下さい。また、本紙はこの書式に沿って作成しておりますので、テンプレートとしてご利用いただくことができます。

なお、講演論文の原稿はPDF形式（フォント埋め込み）で提出していただきます。Wordファイルでの提出は受け付けませんのでご注意ください。

このWordファイルにはそれぞれの書式をスタイルとして設定しておりますので、そちらをご利用いただければ、より簡単に講演論文を作成することができます。これらのスタイル名については、本文中で適宜「(\*JSiSE スタイル名)」という形式で示しますので、参考にして下さい。

### 2. 用紙サイズ・ページ数

用紙サイズはA4判、上下余白は各25mm、左右余白は各20mmとします。また、ページ数は2ページとします。超過したページについては、論文集に掲載されませんのでご注意ください。これらは厳守してください。

本文の文字サイズを10ポイント、書体を和文は明朝体、英文はTimes New Roman（または類似のセリフフォント；以下同じ）とします。また、本文は2段組とし、段落の最初は1字下げとします(\*JSiSE本文)。行数については、余白を変更せず、読みやすさを著しく損なわない限りにおいては、自由に設定して下さい。

### 3. タイトルなど

タイトル、著者・所属・メールアドレス、あらまし・キーワードの各欄については1段組とします。それぞれの欄について詳細を以下に示します。

#### 3.1 タイトル・英文タイトル

タイトルは文字サイズを14ポイント、書体をゴシック体とします(\*JSiSE和文タイトル)。英文タイトルは文字サイズを14ポイント、書体をArial（または類似のサンセリフフォント；以下同じ）とします(\*JSiSE英文タイトル)。副題がある場合は文字タイトルを12ポイントとします(\*JSiSE和文副タイトル)(\*JSiSE英文副タイトル)。

これらの欄は中央寄せとします。また、和文タイトルと英文タイトルの間は1行空けてください。

#### 3.2 著者・所属・メールアドレス

著者・所属・メールアドレス欄は文字サイズを10ポイント、書体を和文はゴシック体、英文はArialとします(\*JSiSE著者・所属)。

記載する順番は、和文著者名、英文著者名、和文所属、英文所属、メールアドレスの順とします。

これらの欄は中央寄せとします。また、英文タイトルと著者欄の間は1行空けてください。

#### 3.3 あらまし・キーワード

あらまし・キーワードは文字サイズを9ポイント、書体を和文は明朝体、英文はTimes New Romanとします。ただし、それぞれ最初にゴシック体で「あらまし：」、「キーワード：」と記載し、その後スペースなしであらまし、キーワードを記載します(\*JSiSEあらまし・キーワード)。

あらまし・キーワードについては、英文あらまし、英文キーワードを記載する必要はありません。

キーワードは発表申込時に選択したキーワードを参考にして、5つ程度まで、発表内容に関連するものを記載してください。

これらの欄は左右の余白から幅を3文字分狭めることとします。また、メールアドレス欄とあらまし

欄の間は1行空けてください。

#### 4. 章・節の見出し

章の見出しは文字サイズを11ポイント、書体をゴシック体とし、章題の前に章番号を「1.」のように記載することとします(\*JSiSE見出し1)。

節の見出しは文字サイズを10ポイント、書体をゴシック体とし、節題の前に章番号と節番号を「1.1」のように記載することとします(\*JSiSE見出し2)。

更に細かく副節、副副節を作成する際には、文字サイズを10ポイント、書体をゴシック体とし、節番号を記載せずに見出しとします(\*JSiSE見出し3)。

#### 5. 図表

図表は不鮮明にならないよう、高精細なもの(300dpi以上が望ましい)を中央寄せで本文中に貼付してください(\*JSiSE図表)。なお、図版のデータを別途送付していただく必要はありません。

図の下、および表の上には、中央寄せで図表番号と図表タイトルを記載します。図表番号・タイトルは文字サイズを10ポイント、書体を和文は明朝体、英文はTimes New Romanとします(\*JSiSE図表番号)。

カラーの図や写真が使えますが、白黒で印刷した際に十分視認できるように、コントラストにご留意ください。



図1 何の変哲もない道



図2 グレースケールでの確認

表1 整数の表現

内部表現	符号なし	1の補数	2の補数
00000000	0	0	0
00000001	1	1	1
⋮	⋮	⋮	⋮
01111111	127	127	127
10000000	128	-127	-128
10000001	129	-126	-127
⋮	⋮	⋮	⋮
11111110	254	-1	-2
11111111	255	0	-1

#### 6. 参考文献

参考文献の見出しは文字サイズを10ポイント、書体をゴシック体とし、中央寄せで「参考文献」と記載します(\*JSiSE見出し参考文献)。

参考文献は文字サイズを9ポイント、書体を和文は明朝体、英文はTimes New Romanとし、最初に文献番号を「(1)」のように記載することとします(\*JSiSE参考文献)。本文中で文献を参照する際は、該当する文献番号を<sup>(1)</sup>のように上付き文字で記載することとします。

参考文献の書式は教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領(<http://www.jsise.org/journal/subguide.html>)に準ずるものとします。本稿では、上記URLに記載の例をそのまま例示しています。

##### 参考文献

- (1) 対馬勝英, 加賀英徳, 中村勝則: “数式処理におけるDMI機能の実現”, CAI学会誌, Vol.7, No.2, pp.43-53 (1990)
- (2) 岡本敏雄, 松田昇: “知的CAIにおける幾何の証明計画の認識と学習機能について”, 情報処理学会論文誌, 第30巻, 第8号, pp.1046-57 (1989)
- (3) 日本情報処理開発センター編: “CAIシステム”, 日刊工業新聞社, 東京 (1972)
- (4) Rockart, J. F. and Morton, M.S.S.: “Computers and the Learning Process in Higher Education”, McGraw Hill, New York (1975)